

## 2018年度 第5回 CPC研究会

日時：10月12日（金）13:30～16:30

会場：化学会館 501 会議室 <http://www.chemistry.or.jp/access/index.html>  
(〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5 TEL: 03-3292-6161)

参加費：維持会員・大学官公庁関係＝無料 / 非会員＝20,000 円  
<http://cpc-society.org/>

13:30～14:55

### 「カーボンナノチューブを中心としたナノ炭素材料の品質評価法開発」

産業技術総合研究所ナノチューブ実用化研究センター

岡崎 俊也 氏

- 1) 種々なカーボンナノチューブ (CNT)
- 2) CNT分散法と分散液評価
- 3) CNT長さ測定法とCNT紡糸
- 4) ロックイン式発熱解析法による複合材中のCNT分散状態およびグラフェン膜の品質評価

カーボンナノチューブ (CNT) は、優れた物性を有することから世界中で応用研究が展開されています。優れた材料を開発するためには、材料中のナノ炭素の品質や状態を的確に把握することが重要です。本講演では、当研究センターで開発した CNT 材料の品質を「見える化」する様々な評価法について紹介します。さらに、それら評価法を酸化グラフェン溶液、セルロースナノファイバー溶液、大面積グラフェン膜に適用した事例についても触れる予定です。

15:05～16:30

### 「高密度等方性黒鉛材の高温特性」

東洋炭素株式会社 太田 直人 氏

- 1) はじめに
- 2) 高密度等方性黒鉛材料の製造方法と産業上の応用分野
- 3) 高密度等方性黒鉛材料の高温抵抗測定装置の開発
- 4) 黒鉛ヒーターの高温時における見かけの抵抗変化の挙動
- 5) おわりに

等方性黒鉛材料は、その特徴を活かして半導体、冶金、化学、電気、航空宇宙や原子力などの多くの産業分野で用いられていますが、一般生活においてこうした等方性黒鉛材料の存在を目にする機会は少なく、云わば「縁の下」で活躍している材料です。本講演では当社の主力製品である等方性黒鉛材料の製造方法とその特徴、現状の応用例とともに、この数年の当社における高温抵抗測定に関する研究事例について紹介をさせていただきます。

---

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: [sec@cpc-society.org](mailto:sec@cpc-society.org) または FAX: 029-861-8963  
10月12日の第5回研究会に出席します (化学会館 501 会議室)

お名前: 維持会員 非会員 大学関係

ご所属:

Tel:

Fax:

E-mail:

## 交通案内

公益社団法人 日本化学会 化学会館  
所在地 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5  
電話 03-3292-6161 FAX 03-3292-6318

<http://www.chemistry.or.jp/access/index.html>

- ・JR 中央線・総武線「御茶ノ水」駅 御茶ノ水橋口 徒歩 3 分
- ・地下鉄丸の内線 「御茶ノ水」駅 出口 2 徒歩 4 分
- ・地下鉄千代田線 「新御茶ノ水」駅 出口 B1 徒歩 5 分

